

2020年度愛知県ジュニア選手権大会女子採点規則

愛知県ジュニア女子適用規則（4部）

（公財）日本体操協会制定 採点規則2017年版および2017年版変更規則Ⅱを以下のように変更して適用する。

採点の基本内容

- すべての種目の採点を10.00からおこなう。（組み合わせ点はなし）
- 段違い平行棒と平均台は5つの技と終末技の合計6技以上で演技を構成する。
- ゆかは6技以上で演技を構成する。
- 技の難しさではなく、美しい演技・減点のない演技を評価する。

跳馬

- 跳躍技は前転とび（跳躍番号1.00）とする。
- 2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。（1回のみの実施であってもその得点が有効点となる）

段違い平行棒

構成要求（CR） 不足は0.30の減点

1. 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施（開始技と終末技を除く）
 2. 後方浮支持回転（浮支持があれば満たす）
 3. け上がり
 4. 終末技
- 構成減点「低棒から高棒へジャンプして移動する」「高棒懸垂～低棒へ足を掛け、低棒へ移動する」は適用しない。
 - 前方／後方足裏支持回転の膝の曲がりには減点しない。

平均台

構成要求（CR） 不足は0.30の減点

1. 180度開脚（前後または左右）または左右開脚屈身のリープまたはジャンプ
 2. ターン（グループ3）
 3. 2つ以上の方向の異なる（前方/側方または後方）アクロバット系の技
 4. 終末技
- 構成と振り付けの減点「難度表にない開始技」「技の偏り：演技全体で1回より多い脚の伸びた両足上の1/2ターン」は適用しない。

ゆか

構成要求（CR） 不足は0.30の減点

1. 180度の開脚前後／左右または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホッツプ、シャッセ、シェネターンなどが入った）の組み合わせでの移動
2. 片足上のターン（グループ2）
3. 空中局面を伴う前方系のアクロバット系の技
4. 空中局面を伴う後方系のアクロバット系の技

その他

- 段違い平行棒、平均台、ゆかの演技構成において、6技に満たない演技は1技不足につき各0.30の減点とする。
- 段違い平行棒および平均台に限り、終末技においてウレタンマットの使用を認める。また、開始において補助台の使用を認める。（但し、主催者側が準備したものに限る）
- 跳馬のレーンに関する採点は適用しない。
- ゆかの境界線からの踏み出しはすべて各0.10の減点とする。
- 段違い平行棒で倒立を経過する技は使用しない。使用した場合は各0.50の減点とする。（4部では初心者の出場を推奨するため。）

愛知県ジュニア女子適用規則（3部）

（公財）日本体操協会制定 採点規則2017年版および2017年版変更規則Ⅱを以下のように変更して適用する。

採点の基本内容

- ・すべての種目の採点を10.00からおこなう。（組み合わせ点はなし）
- ・段違い平行棒と平均台は5つの技と終末技の合計6技以上で演技を構成する。
- ・ゆかは6技以上で演技を構成する。
- ・技の難しさではなく、美しい演技・減点のない演技を評価する。

跳馬

- ・跳躍技は前転とび（跳躍番号1.00）とする。
- ・2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。（1回のみの実施であってもその得点が有効点となる）

段違い平行棒

構成要求（CR） 不足は0.30の減点

1. 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施（開始技と終末技を除く）
2. 浮支持回転倒立（45度以上）
3. 棒に近い回転系の技（空中局面を伴わない）
4. 倒立に到達する技
5. 終末技

- ・構成減点「低棒から高棒へジャンプして移動する」「高棒懸垂～低棒へ足を掛け、低棒へ移動する」は適用しない。

平均台

構成要求（CR） 不足は0.30の減点

1. 180度開脚（前後または左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
2. ターン（グループ3）
3. 2つ以上の方向の異なる（前方/側方または後方）アクロバット系の技
4. 空中局面を伴う技を含む、アクロバット系の技
5. 終末技

- ・構成と振り付けの減点「難度表にない開始技」「技の偏り：演技全体で1回より多い脚の伸びた両足上の1/2ターン」は適用しない。

ゆか

構成要求（CR） 不足は0.30の減点

1. 180度の開脚前後/左右または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホッツプ、シャッセ、シェネターンなどが入った）の組み合わせでの移動
2. 片足上のターン（グループ2）
3. 空中局面を伴う前方系の宙返り（片足踏み切りの宙返りは除く）
4. 空中局面を伴う後方系の宙返り
5. アクロライン（終末技を含む）

その他

- ・段違い平行棒、平均台、ゆかの演技構成において、6技に満たない演技は1技不足につき各0.30の減点とする。
- ・段違い平行棒および平均台の開始において補助台の使用を認める。
（但し、主催者側が準備したものに限り）
- ・跳馬のレーンに関する採点は適用しない。
- ・ゆかの境界線からの踏み出しはすべて各0.10の減点とする。

愛知県ジュニア女子適用規則（2部小学生・中学生）

（公財）日本体操協会制定 採点規則2017年版および2017年版変更規則Ⅱを以下のように変更して適用する。

跳馬

- ・2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。（1回のみの実施であってもその得点が有効点となる）
- ・支持局面 支持が長い - 0.10 / 0.30 / 0.50
- ・第2空中局面 ダイナミックさに欠ける「スピードと迫力に欠ける。 - 0.10 / 0.30 / 0.50

段違い平行棒

構成要求（CR）

1. 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施（開始技と終末技を除く）
 2. 浮支持回転倒立
 3. 棒に近い回転系の技（空中局面を伴わない）
 4. 倒立に到達する技
- ・構成減点「低棒から高棒へジャンプして移動する - 0.5」は適用しない。

平均台

構成要求（CR）

1. 180度開脚（前後または左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
2. ターン（グループ3）
3. 空中局面を伴う技を含む、アクロバット系の技
4. 方向の異なる（前方／側方と後方）アクロバット系の技

ゆか

構成要求（CR）

1. 180度の前後／左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）の組み合わせでの移動
 2. B以上の宙返り
 3. 前方宙返りを含むアクロライン（片足踏み切りの宙返りは除く）
 4. 後方宙返りを含むアクロライン
- 注：構成要求の2、3、4はアクロラインの中で実施しなければならない。

<第8章 一般欠点と減点表>

追加

ー前向きでない構成（段違い平行棒、平均台、ゆか） - 0.1 / 0.3 / 0.5

<終末技>（段違い平行棒、平均台、ゆか共通）

実施された終末技によって、以下の加点を与える。

加点はDスコアに加算される。

大過失のある実施にも加点が与えられる。

- ・ A以上の終末技 + 0.5

愛知県ジュニア女子適用規則（1部Ⅱ）

（公財）日本体操協会制定 採点規則2017年版および2017年版変更規則Ⅱを適用する。

跳馬

- ・2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。（1回のみの実施であってもその得点が有効点となる）
- ・支持局面 支持が長い - 0.10/0.30/0.50
- ・第2空中局面 ダイナミックさに欠ける「スピードと迫力に欠ける。 - 0.10/0.30/0.50

段違い平行棒

構成要求（CR）

1. 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施（開始技と終末技を除く）
 2. 空中局面を伴う技（終末技を除く）
 3. 棒に近い回転系の技（空中局面を伴わない）
 4. 倒立に到達する技
- ・構成減点「低棒から高棒へジャンプして移動する - 0.5」は適用しない。

平均台

構成要求（CR）

1. 180度開脚（前後または左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
2. ターン（グループ3）
3. 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズ（同一技でもよい）
4. 方向の異なる（前方/側方と後方）アクロバット系の技

ゆか

構成要求（CR）

1. 180度の前後/左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）の組み合わせでの移動
2. ひねり（1回ひねり以上）を伴う宙返り
3. 前方宙返りを含むアクロライン（片足踏み切りの宙返りは除く）
4. 後方宙返りを含むアクロライン

注：構成要求の2、3、4はアクロラインの中で実施しなければならない。

<第8章 一般欠点と減点表>

追加

－前向きでない構成（段違い平行棒、平均台、ゆか） - 0.1/0.3/0.5

<終末技>（段違い平行棒、平均台、ゆか共通）

実施された終末技によって、以下の加点を与える。

加点はDスコアに加算される。

大過失のある実施にも加点が与えられる。

- ・A以上の終末技 + 0.5

愛知県ジュニア女子適用規則（1部I）

（公財）日本体操協会制定 採点規則2017年版および2017年版変更規則Iを適用する。

跳馬

- ・2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。（1回のみの実施であってもその得点が有効点となる）
- ・支持局面 支持が長い - 0.10/0.30/0.50
- ・第2空中局面 ダイナミックさに欠ける「スピードと迫力に欠ける。」 - 0.10/0.30/0.50

段違い平行棒

構成要求（CR）

1. 高棒から低棒へ移動する空中局面を伴う技
2. 空中局面を伴う技（構成要求1とは兼ねられない、終末技を除く）
3. 異なる握り（後振り上げ、開始技と終末技を除く）
4. 360度以上のひねりを伴う空中局面を伴わない技（開始技を除く）

平均台

構成要求（CR）

1. 180度開脚（前後または左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
2. ターン（グループ3）
3. 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系のシリーズ（同一技でもよい）
4. 方向の異なる（前方/側方と後方）アクロバット系の技

ゆか

構成要求（CR）

1. 180度の前後/左右開脚または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）の組み合わせでの移動
2. ひねり（1回ひねり以上）を伴う宙返り
3. 2回宙返りまたは2つの異なる宙返りを含む1つのアクロライン
4. 1つのアクロラインまたは異なるアクロラインでの後方宙返りと前方宙返り（片足踏み切りの宙返りは除く）

注：構成要求の2、3、4はアクロラインの中で実施しなければならない。

<第8章 一般欠点と減点表>

追加

—前向きでない構成（段違い平行棒、平均台、ゆか） - 0.1/0.3/0.5

<終末技>（段違い平行棒、平均台、ゆか共通）

実施された終末技によって、以下の加点を与える

- ・Bの終末技 +0.30
- ・C以上の終末技 +0.50

〈Aの難度が認められている技〉

① 2017年版採点規則「変更規則Ⅰ、Ⅱ」に記載されている技

	4部	3・2・1部
扱い方	1技と数えられ 構成要求にも使用できる	1技と数えられるが 構成要求には使用できない

② 4部のみ以下の技もA難度として認める

段違い 平行棒	「そんきょ」「さか上がり」「大振りさか上がり」「棒下振り出し下り」	
平均台	「前転とび下り」「ロンダート下り」	
ゆか	該当する技なし	

器具

	跳馬	段違い平行棒	平均台		ゆか
	高さ	高さ	高さ	演技時間	演技時間
3部	110cm	高棒250cm 低棒170cm	125cm	90秒以内	90秒以内
2部	小学生110cm 中学生125cm				
1部	125cm				

2020年 2月改訂

愛知体操協会 女子審判委員会